

合同教育研究会議（6月8日開催）議事概要

1 開催日時

令和4年6月8日 13時00分～14時50分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、
狩野副学長兼研究・地域連携本部長、宮野副学長兼事務局長、
猪股教育支援本部長、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、熊本国際教育研究部長、
福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、
川崎盛岡短期大学部長、長坂生活科学科長、伊藤国際文化学科長、
松田宮古短期大学部長、大志田経営情報学科長、
菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、
長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長）

[事務局]

新沼事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、高田学生支援室長、
藤村研究・地域連携室長、北島企画室長、瀧澤宮古事務局長、
西川総務財務課長、八木主幹、千代谷主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議5月11日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

(1) 看護学部カリキュラム・ポリシーの一部改定について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。福島看護学部長から、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正によりカリキュラムの見直しが必要となったことから、この際にディプロマ・ポリシーの表現及びカリキュラムの大きな柱も変更することとし、今回のカリキュラム・ポリシーの改定に至ったものである旨、補足説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

(2) 令和3事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

橋本大学評価委員会副委員長（企画本部長）から、資料に基づき説明があった。実績報告書本体には、令和3年度決算により精査中の数値があるため、調整の上で以後の会議等に提出する旨、補足説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

(3) 学長候補者の推薦対応について

人事案件のため、全ての審議、協議、報告事項が終了した後に、学長及び事務局

の関係者以外の者が退席した上で審議が行われた。

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。本資料は、6月1日付でホームページ、デスクネット、各学部事務室内等への掲示により公表している旨、補足説明があった。

宮野副学長から、教育研究会議からの学長候補者の推薦手順について提案があり、審議の結果、提案のとおり了承された。了承された内容については、本会議終了後に事務局から各委員に対し改めてメールで通知することとされた。

協議事項

(1) 本庄照子奨学等基金（仮称）を活用した海外派遣奨励制度の創設について

猪股教育支援本部長及び関屋教育支援室長から、資料に基づき説明があった。給付方法等の制度の詳細については今後検討する予定である旨、補足説明があった。

学業成績優秀者を対象としているが、どの時点の成績を何を用いて判定するかという委員からの質問に対し、関屋教育支援室長から、GPAで判定することを想定しているが、どの時点で判定するか等の手続は今後検討するとの回答があった。

既存の奨励制度は授業料減免を受けている者が対象、新奨励制度は学業成績優秀者が対象となっているが、授業料減免を受けている者は学業成績が優秀だと考えられることから、実際にはどの範囲の何人程度が対象となり得るのかという委員からの質問に対し、関屋教育支援室長から、既存の奨励制度は令和2年度に構築したが、新型コロナウイルス感染症により海外派遣を行うことができず制度が運用されていないことから、現時点で具体的な人数を見込むのが難しいこと、授業料減免を受けている学生は全体の4割であることから、残り6割の中で新奨励制度利用希望者を上位から採用することが考えられるとの回答があった。

委員から、既存の奨励制度も新奨励制度も対象プログラムが正課及び正課外となっているが、希望者が増えた場合はどちらかを優先せざるを得ないこと、学生にとっては正課を優先した方が良いと考えられるが、どちらを優先するのか検討を要望するとの発言があった。

協議の結果、原案のとおり了承された。

(2) 本庄照子奨学等基金（仮称）を活用した Iwate Chubu Ohio 大学間交流事業の実施計画について

猪股教育支援本部長及び関屋教育支援室長から、資料に基づき説明があった。実際の活動内容などは、現地の受入体制等も確認の上詰めていく旨、補足説明があった。

委員から、活動内容については中部大学やオハイオ大学とも議論し、これまでより一歩進んだ活動を展開してほしいとの発言があった。

協議の結果、原案のとおり了承された。

(3) 本庄照子奨学等基金（仮称）を活用した奨学金制度の創設について

三上学生支援本部長及び高田学生支援室長から、資料に基づき説明があった。給付年額20万円は学生のアルバイト収入の平均年額を参考にしたこと、予算が寄附年額を超えているが、超過分は目的積立金取崩により充当するものである旨、補足説明があった。

委員から、各学部・短期大学部の卒業年次生を対象としているが、今後は大学か

ら大学院に社会人経験を経ずに進学するストレートマスターに対する支援も検討してほしいとの発言があった。また、マスターやドクターに対する支援を検討してほしいが、財源に限りがある場合には学部割り当てられた採用数の中でマスター、ドクターへの支援を行うことも検討してほしいとの発言があった。これに対し、三上学生支援本部長及び高田学生支援室長から、制度の期間を令和10年度までとしているが、1・2年程度運用した上で制度の見直しを行い、充実を図ってほしいとの発言があった。

委員から、他の給付奨学制度利用者は本制度を利用できないこととされているが、他の給付奨学制度の中には卒業年次に入って数か月後に採用が決定するものがあることから、そのことも勘案した上で本制度を運用してほしいとの発言があった。

協議の結果、原案のとおり了承された。

報告事項（口頭報告）

（1） 令和4年度全学FD・SDプログラム第1回高等教育セミナーの開催について

猪股高等教育企画部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、参加を徹底するよう発言があった。

（2） （仮称）防災復興支援センターの設立準備について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。当該センターの方向性を決めるために設立準備会議を立ち上げるものであること、設立準備会議の構成員には調整役としての役割を担ってもらうこと、昨年度、防災や復興に関する学内シーズを各学部等から情報提供してもらったが、災害マネジメントサイクルの概念を用いると、これ以外にもシーズがあると考えられることから、何らかの形で全教員が参加できるようにしていきたい旨、補足説明があった。

設立準備会議の構成員は、研究を推進するのではなく調整役という考えでよいかとの委員からの質問に対し、狩野研究・地域連携本部長から、具体的な研究は令和5年度にスタートすることから、今回は調整が主な役割ではあるが、防災や復興の研究に接点がないと当該センターの方向性の議論を深めたり学部との調整をしたりすることが難しいことから、当該分野の研究者が調整役となるのが最もよいと考えられること、ただし学部によって事情も異なることから、学部ごとに改めて相談するとの回答があった。

（3） 令和4年度各学部の自己点検・評価に係る外部有識者の委嘱及び意見交換等について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

（4） 認証評価実地調査の対応について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。盛岡短期大学部の日程が調整中となっているが、今般通知があり9月15日（木）・16日（金）となったこと、今年度の実地調査は原則としてオンラインではなく対面で行われることから、施設・設備見学も行われる見込みであること、面談や学生インタビュー、見学対応など、全学を挙げて対応が必要であることから、協力を依頼する旨、補足説明があった。

令和4年3月に大学基準協会に提出した最終の「点検・評価報告書」のデータは

どこかに格納されているかとの委員からの質問に対し、橋本企画本部長から、PDFファイルを共有フォルダに格納しているので、本会議後に改めて学部長、学科長、本部長、副本部長等に格納場所を通知するとの回答があった。

(5) 令和3年度卒業年次生アンケートの結果について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、以前の教育研究会議で報告のあった大学ランキングについて、本学は国際性と教育成果の数値が低かったが、東北大学を退官された先生（在職中に東北大学の大学ランキング向上に尽力）が本学の分析を行い、どのような取組をすべきかコメントを付して資料を提供して下さったこと、この資料はおって各学部長等に提供するが、その中で、入学時、各学年末、卒業時に学生アンケートを行い、学生の勉学に対する意識を把握し向上を目指すことが大切で、様々な大学で学生担当の教員が学生と年1回以上面談を行い、アンケートの結果や勉学に対する意識などについて学生と話をする場を設けていることなどが書かれており、本学でもそのような取組を検討するため、今後議論したいとの発言があった。

(6) 本庄照子奨学等基金の創設について

協議事項3件に関連する項目であることから協議事項に先立ち報告が行われ、新沼次長兼総務室長から資料に基づき説明があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和3年度FD・SDの実績について
- (2) 令和4年度岩手県立大学副専攻「いわて創造教育プログラム」第4期生修了証授与式開催結果について
- (3) 令和4年度第1回学務調整会議の開催概要について
- (4) 令和4年度前期「English Time」の開催について（滝沢・宮古）
- (5) 令和5年度編入学入試（ソフト）出願状況
- (6) 令和4年度キャンパス・アテンダントの決定について
- (7) 令和4年度ライブラリー・アテンダントの決定について
- (8) 令和3年度研究倫理審査委員会の審査結果概要について（報告）
- (9) 令和4年度公開講座・滝沢キャンパス講座の開催について
- (10) 岩手もりおか学生デジコン実行委員会への参加について
- (11) 学外からのdesknet'sNEO（モバイル版）の利用について
- (12) 「令和4年度第1回職員衛生委員会」の結果について

その他

狩野副学長から、前回の教育研究会議で出された学長選考会議に対する意見について、6月1日に開催された学長選考会議において報告した旨、報告があった。